

関西ビューティプロ専門学校

2022年4月 ～ 2023年3月
自己評価結果報告書

評価点数	定義
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

1.教育理念・目標

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	学園理念である「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」を体现すべく、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトとし、カリキュラム・授業内容を組み立てている。	学科により、大きく職業観、教育内容、学生の意識、学科特色が違い、学校としての特色が共通の意識として持ちづらい点が課題。
2	学校における職業教育の特色は何か	3	美に関わる仕事としての接客、マナー教育やコミュニケーション能力等の職業教育、各職業に必要な技術、資格の取得を特色としている。	
3	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱えているか	3	<p>少子高齢化に伴う、現場での人材減少から各業界から即戦力となる人材が必要とされているが、高校生のニーズとしては、「一つの職業を入学時に決めて集中して学ぶ」ではなく幅広く学ぶというニーズが多くなっている。</p> <p>また、学びたい内容も流動的であることから、トータルビューティを主軸に学内で職業観を育み、現場で求められる技術、心を学生に教育、就職のサポートができるよう、全国の企業・サロンと連携し変化し続ける学校であり続けようとしている。</p> <p>2020、2021年と、特にコロナ禍で授業のオンライン化が進められ、その後は政府の方針でも極力対面を維持する事を推奨とされた。学生にアンケート等をとり意見を汲み上げ判断した結果、感染症対策を行いながら、感染者がクラスで複数出た場合、学級閉鎖などを適時行い対応した。</p> <p>DX化対応の足掛かりとして、BA科にてIpadを用いたメイク授業を行った。</p>	<p>美に関わる仕事としては学科の隔たりは無いので、共通する事で学校としての共通意識を育成する事が大事ではないか。</p> <p>コロナの影響によってメイク、ブライダル業界が業績悪化しており、就職も難化していたが回復傾向にある。</p> <p>また、今後の社会のDX化、小中学校から始まっているGIGAスクール構想が進むにつれ、専門学校も対応が必至となるため、その対応も今後の課題とする。</p>

2. 学校運営

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	4		
2	運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	4		
3	運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか	4	運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、全体会議等で周知徹底している。学校運営組織は、校長をトップに副校長、教務部がこれを補佐する形で運営されている。人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。	
4	人事、給与に関する規定などは整備されているか	4		特になし
5	教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4		
6	教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4		

3.教育活動

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4	当校の母体は関西美容専門学校であり、学園全体の教育理念として「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」をモットーとし、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトに年間のカリキュラムを作成。プロとしての職業を意識を持たせる内容の他、多教の資格取得を目指す内容を多く取り入れている。	
2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
3 カリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムにおいては美容業界の情報を取得し、授業内容へ反映させている。また取得した情報をもとに職員が毎年見直しを行い、基礎から実践力を養うカリキュラムの進捗を行っている。雑誌の表紙などテーマを決めた作品制作なども行い、学生が楽しめる内容も取り入れている。	来年度はコロナの環境も変わり普段の授業は勿論、インテリジェンスセミナーも対面に移行していく。また学校生活やイベントもコロナ前に戻していきたい。学生の学習意欲や満足度を高めたい。
4 美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4		
5 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4		
6 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	日常の授業評価として校内筆記・実技試験を行い成績通知表に記載し家庭内にて確認が出来るよう保護者への送付も行う。進級・卒業の認定については必要単位数を明確にしている。	インテリジェンスセミナーはビューティプロ独自の内容を考え、メイクやネイルなど最近の流行を取り入れた内容を検討している。
7 職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか	4	外部関係者からの意見は柔軟に取り入れ、その都度検討し必要と判断する内容などは採用するようにしている。	選択科目では卒業生やサロンスタイルリストに講師として直接学生に指導して頂くカリキュラムを導入し、学生の技術向上、資格取得につなげている。
8 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4	成績評価については3学期制をとっており、学期ごとに試験を行い各教科・科目の評価、欠席日数管理をし、進級・卒業判定は明確に定めている。	また取得した情報・ニーズをすぐに取り込み教職員のスキルアップを行い、指導に取り入れ入れていくことの間確保を課題とする。
9 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4	カリキュラム内にて、様々な業界で活躍している技術者を講師として招き、教育水準を高めている。その事から、資格取得に関し各団体が公表している全国平均合格率より高い合格率を出している。	
10 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3		
11 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	4	指導・教育にあたり教職員のスキルアップが重要となり、各学科にとどまらず各科目のスキルアップレッスンを繰り返している他、年度初めには学園全体で指導への研修を行っている。	
12 職員の能力開発のための研修は行われているか	4		

4. 学習成果

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 就職率の向上はなされているか	3	就職については活動意識を高める授業を取り入れ活動方法、会社リサーチなども行えるよう徹底した指導を取り入れられている。また、減少していたブライダルの求人も増え、どの職種も多く求人を頂き学生も色々と検討しながら活動が出来た。就職率は98%と例年と同じで、ほぼ全員の学生に内定をいただいた。 TB3年制はアイリストを希望する学生が非常に増えてきた。	学生との個別面談の時間確保もカリキュラム作成時に行い、毎学期ごとに面談を行い、学生の状況を把握する必要がある。 就職活動においては、業種により専門職員による個別面談への誘導が必要であり、職員間での学生の情報共有が課題である。
2 資格の取得はなされているか	4	資格取得については就職活動の一環としてだけでなく就職後のキャリアアップも目指し、カリキュラムの内容に取り入れられ積極的に取得につなげていく。追加で対策授業を行いスキルアップの時間も確保している。	退学率の低減に対する取り組みは重要な課題である。一人一人に対して丁寧に対応し、個々の声に耳を傾け学生にあった対応を考える必要がある。 また本部と職員との情報共有を図り、学生それぞれに合った対応ができるよう務めるべきである。
3 退学率の低減が図られているか	1	退学率の低減については厳しい状況となった。昨年同様、担任との面談、職員間での情報共有、保護者との連絡など色々な方向から学生対応はしたが、なかなか減少にはつながっていない。傾向として欠席日数の増加から卒業延期、仮進級になり退学する学生が多かったように思う。	退学率の低減に対する取り組みは重要な課題である。一人一人に対して丁寧に対応し、個々の声に耳を傾け学生にあった対応を考える必要がある。 また本部と職員との情報共有を図り、学生それぞれに合った対応ができるよう務めるべきである。
4 卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	3	卒業生とのつながりは深く、同窓会やOGセミナーなどに呼びかけ常に把握に努めている。今年度は同窓会は行われなかったが、OGセミナーを開催することができ、在校生も卒業生の話を聞く良い機会になった。 またキャリアアップシステムを使い学校からの情報を速やかに共有していきけるようすすめている。	日々の授業に意味を持たせ、資格取得に向けて目標を持たず事も重要だが、美容を学ぶことが楽しいと思ってもらう為の授業内容も取り入れられることを検討している。
5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3		

5. 学生支援

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	1年生のうちから就職にむけての授業などをとりいれ、2年、3年に進級後は各担任との面談を行い個人の進路について指導している。個人個人の相談に関しては各クラスの担任や学科主任だけでなく教職員全員で適宜うけている。	
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	経済的支援体制については日本学生支援機構奨学金制度、国の教育ローン制度のほかに、本校独自の学費免除特待生制度も設けており支援を実施している。一人暮らしの学生に対しての支援も奨学金機構からの支援があり行った。	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	健康管理については年一回の健康診断を行っている。	
4	学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3	本校の課外活動とは外部のコンテントなどが主であり、技術指導や引率等の支援体制は充実している。外部のコンテントも従来のように開催しはじめている。学校イベントは感染対策をおこない無事に開催できた。またフोटオスタジオができ、フोटオコンテントなど作品撮りの環境が整った。	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	生活環境の支援については提携している不動産会社より学生生マンションの紹介を行い遠方の学生の支援体制としてい	
6	学生の生活環境への支援体制はあるか	3	保護者には学期末成績表の送付をはじめ、年間行事予定表などの案内をその都度通知している。また、欠席が目立って多くなるなどの場合、保護者との面談を行っている。また保護者対象の緊急メールを導入し、スピード感のある対応を行っている。	
7	保護者と適切に連携しているか	4	卒業に向けての単位取得、校内実技試験、校内筆記試験において不足が認められた場合は補習という形をとり、補い、卒業に向けて対応している。	
8	卒業への支援体制はあるか	4	9割以上の学生が高校新卒生のため、社会人に対しての特	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	別な環境や制度は設けていないが、新卒生等しく支援を受ける事が出来る。	

就職に関しては前年度より求人数も増え、学生の希望を聞きながら就職のサポートを行った。職種が多い為、担任以外の学生との相談などがスムーズにできる体制作りの強化が必要である。

健康管理の面においては発熱や体調不良などがあれば必ず連絡をもらい早期に対処している。

今年度も心の悩みを抱える学生が多く、心理カウンセラーへの相談も活用しながら、学生の心の悩みの軽減を目指す。

入学生の9割強が新卒生のため、社会人対象の入試や制度等は特別設けておらず、社会人のニーズを踏まえた教育環境は未熟なところがある。しかし社会人、新卒生平等に受け入れをしており、教育も等しくしている。

6.教育環境

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3	施設・設備は学習環境に影響がないように学生や教員の意見を取り入れ、整備をしている。 特に今年度は昨今のフォトコン人気を踏まえ撮影スタジオの設置や、学内の照明をLEDにし省電力化に努めた。	
2	学校外の実務実習、インターンシップ、海外研修などの実施の体制は整備されているか	3	学外研修サロンでの実務実習やビデオアドバイザー学科等ではインターンシップをメーカー企業と行い、技術向上や就職活動の一環として行っている。 コロナ禍で中止していた、関西コレクションの参加や海外交換留学を再開した。	来年度は従来通り実施を目指したい。
3	防災に対する体制は整備されているか	3		

7. 学生募集

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	学生募集活動は適正に行われているか	3	<p>入学案内書及び募集要項を毎年作成し、月2回はオープンキャンパスを開催し募集を行っている。</p> <p>オープンキャンパス等の内容改善を行った。また、2回目以降の参加者に対してのコンテンツである+beautyへの予約動線や内容を変更し、参加者人数を増加を図った。</p> <p>遠方の参加者のためオンラインオープンキャンパス等を月2回程行っていたが、コロナ禍当初に比べ参加者が減少。来校型のオープンキャンパスを複数校参加する従来の形に戻ってきた。</p>	<p>学校理念・コンセプト・教育成果などを積極的に伝えており、大半の学生が入学後のアンケートでもギャップを感じていないが、一部説明不足が原因なのか入学前のイメージと乖離が起きている。</p> <p>入学者人数としては引き続き、化粧品業界の不調によるBA学科志望の減少やエスエヌ学科の長期不調が厳しいものの、トータルビューティ学科3年制、2年制が好調で昨年度イープンという結果となった。</p>
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	3	<p>HPでの紹介、オープンキャンパス等での学校説明により教育成果を正確に伝えるよう努めている。また、高校生自身が主体的に自分で考え選んで進路を決定できるよう、声かけ等、徹底させている。アンケート結果では、学校の決め手として「資格取得」の項目が非常に多く、高校生に独自性が伝わっているのではないかと思われる。</p>	<p>来年度以降、徐々にマスクが取れたり、インバウンド需要で化粧品業界が活発になり求人も増え、BA学科は徐々に回復が予想されるが、エスエヌやトータルビューティ2年制などの募集改善が課題となる。</p>
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	4	<p>入学選考はAO入試・推薦入試、一般入試を行い、面談官に対してはアドミツコンポリシーの共有や、採点ポイント等の共有などを毎年行っている。適正・公平を保っている。</p> <p>オンライン入試を引き続き実施している。</p>	<p>美容師資格の取得についても色々な選択がある事を学生に認知してもらうのが重要かと思われる。</p>
4	学納金は妥当なものになっているか	4	<p>学費は妥当なものと考えている。また、募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。</p>	

8. 財務

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4		
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	監査法人による監査を適正に実施している。	特になし
3 財務に関する会計監査は適正に行われているか	4		
4 財務情報公開の体制整備はできているか	4		

9. 法令などの遵守

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4		
2 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4	専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。個人情報に対しては、充分に注意し、教職員はもちろん生にも指導している。	昨年度自己評価、関係者評価の公表を行い引き続き公表を続けると共にすべでではないが昨年挙げられた問題点に対して改善を取り組んだ。
3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3		
4 自己評価を公開しているか	4		

10. 国際交流

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 留学生の受け入れ派遣について戦略を持っているか	2	留学生の受け入れや派遣は就職先が安定されたいため意欲的に実施していない。リゼ・エルザ・ルモニエ校との短期交換留学を今年度から再開した。	
2 学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	3	1985年以降30年フランス国立のリゼ・エルザ・ルモニエと姉妹校提携しており、学園として交流を行い、国を超えた取り組みを行っている。	コロナ前、従来通りに戻していく。